

# 築42年の2×4住宅をレストラン併用住宅へ

神奈川県 Y邸

## 憧れの地へ移住、開業を計画

Yさん夫妻は憧れていた鎌倉に築42年の戸建て住宅を購入し、店舗併用住宅へリフォームする計画を立てました。その住宅は、東京都心で創作チーズ料理店のオーナーシェフをしていたご主人が望んだ、落ち着いた住宅地での開業を可能にする条件を備えていました。建物は広い客席を創出できるツリーバイフォー住宅。その1階をレストランへコンバージョンすることにしました。

## 上下で分離する店舗併用住宅へ一新

コンセプトは、昔からそこにあつたような印象を持つレストランにすること。ファサードの外壁には4色の塗装を重ね、エイジング加工が施されました。以前の店の看板も大切に活用。また、玄関はレストランのエントランスへリフォームされ、チーズ生産者たちのサインが書かれた東京の店の壁を移設。厨房前の一枚板カウンターも活かされました。居間だった空間は床を下げ天井を上げて天井高2.7mの客席に。広い厨房も設けられ、ご主人は「夢や理想が少しずつ形になっていくのが

楽しかった」と振り返ります。

2階は自宅へリフォーム。階段ホールを基点に各空間を四方に配置し、スムーズな動線と多くの収納スペースを確保。心地よい住居と個性あるレストランとの店舗併用住宅が実現したY邸は、リフォームコンクールで受賞しました。

## リフォームのプロが語る

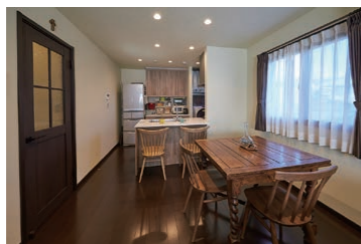
ツリーバイフォーをベースに  
思いの詰まったこだわりの  
コンバージョンを提供

この実例は、築42年の戸建て住宅の1階をヨーロッパの裏路地に付むようなレストランに、2階をご自宅にリフォームしたプロジェクトです。1階は耐力壁を移動させて構造強度を保持し、「厨房から見渡せるように」とのご要望を満たす開放的な客席スペースを実現。既存の床を下げて天井を目いっぱい上げ、窓は庭のグリーンが映えるように高さ2.2m超のサッシを用いました。また、前の店の看板・照明・壁を再利用することで、夫妻にも新旧のお客様にも味わい深い空間デザインとなりました。

ツリーバイフォー工法ならではの特徴を熟知した設計者により、お施主様の思いの詰まった魅力的な空間を実現させることができました。

(三井デザインテック㈱)ライフスタイル事業本部  
リフォームデザイン事業2部事業1グループ  
見上 智治氏

Y邸設計・施工 / 三井デザインテック㈱



2階の住居空間。キッチンや浴室など水まわりが新たに設置され、収納スペースの充実が図られた。



(右)厨房前に、以前の店にあった4m60cm余の一枚板のカウンターを活用。左は廊下へと続くアーチ開口。

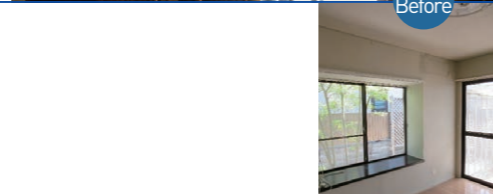
(下)耐力壁の移動、天井・壁・窓の断熱リフォームを実施し、居間を客席スペースへリフォーム。室内空気環境(特に厨房の排気)に配慮した。インテリアには、アンティークを好むご主人が要望した「古いもの」「味のあるもの」が選ばれている。



既存の食堂スペースはレストランの個室席に活かされた。



居間の南側中央(写真左手)には耐力壁があった。



食堂には大きな出窓があった。



レストランのエントランスはオーナーシェフであるご主人の世界観を表現する演出空間となっている。チーズ生産者たちのサインが書かれた左手の壁面は以前の店から移設したものの。



リフォーム前のトイレの位置を利用し、レストランのレストランルームにリフォームした。客席と同じように落ち着いた雰囲気がある。

住居の玄関を奥に移し、店舗とアプローチを分けて職住一体でありながら一軒家レストランの印象を与える外観にリフォームした。「スプリデオ レストランレ」という店名はラテン語で“笑顔”と“回復する、修復する”の語に由来する。



左手の入り口が住まいの玄関。

After  
Before

## DATA

リフォーム年 / 2021年9月  
築年数 / 42年 規模 / 2階建て  
既存建物面積・リフォーム面積 /  
148.06㎡ (44.79坪)